

「家がいいね」 第83号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2011. 4. 4

自分の足元を揺らさないで！

3月11日午後、一斉に

TV画面が切り替わりました。繰り返し地震や津波、原発報道を受けて心が縮み、単調で重い気分の中に投げ込まれている方も多いと思います。震災3日目に、私はおかしくなっている自分



を感じ、TVから離れ早く寝るようになりました。原発も見通しのつかない中で、細かすぎる数字や情報に、気持ちを揺さぶられます。不安材料をエネルギーにして動いている「マスゴミ」世界からは距離を取るべきだと、私は思っています。

午前中の外来患者さんでも、不安定になる人が多くいます。自責感で「自分に出来ることは何か」と、その人にとり無理な志向をします。元の生活感覚を取り戻した上で、本当に必要なことを考えるべきです。うつから回復過程の人で、ご自分で情報の洪水から距離をとろうと試みられた方々には、「それは、よかったね」と言っておさしあげます。

伊勢の早咲き桜 1

宇治山田駅の近く、中條眼科となりの桜です。昔と比べると高さも半分に切られ、足元を車や人に痛めつけられても、時期が来ると、けなげに咲き始めます。



伊勢の早咲き桜 2

勢田町の県総合庁舎の前の桜です。一本だけ早く、白っぽい花を咲かせます。勢田川に花を投げかける枝もあります。もう少し下流には、潮の干満を感じられる境目があります



エンディングノートの講習会

住民自身が、最期まで自宅での生活を選択しつつするなら、一人の頭で考えず、互いに勉強しながら、対応を考える道を選びましょう。

4月から定例化、第2水曜 夜19時〜

場所…クリニック隣 縁(えにし)の家

4月13日「介護が始まる時」講師と懇談

5月11日「遺言の書き方」

6月 8日「医療での意思伝達」

7月13日「今の世の葬儀」

参加無料、終了時にはノートが完成します

みえ生と死を考える市民の会 勉強会

4月16日(土)

13時〜14時半

三重県総合文化センター

セミナー室C 会員外も可

西宮市民 吉田利康さん

「妻の看取りの日から私のあゆみ」

〜暮らしこそホスピスケアの底流〜

(自ら作成の絵本も交えて、いいお話です)

クリニックは、4月16日は臨時休診です



伊勢の早咲き桜 3

新道の交差点の角の、月夜見宮に接する世古家の見事な桜です。ピンクが強く、灯籠や宮の樹の緑と対比し、とても綺麗です。冒頭の写真もこの桜の接写です。やがて、宮川堤などの染井吉野の桜も、一斉に満開になる時期を迎えます。一面の桜の景色の中にも、一つの桜の木を見てゆきたいものだと思います。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
ホームページ <http://isezaitaku.com>